

ウサギと野ウサギのダンス / 世界最新の洞窟壁画

Rabbit and Hare Dance /
The Latest of Cave Painting

太田 祐司 | yuji ota

2022.5.14 (sat) - 6.12 (sun) 14:00-18:00 土日のみ開催

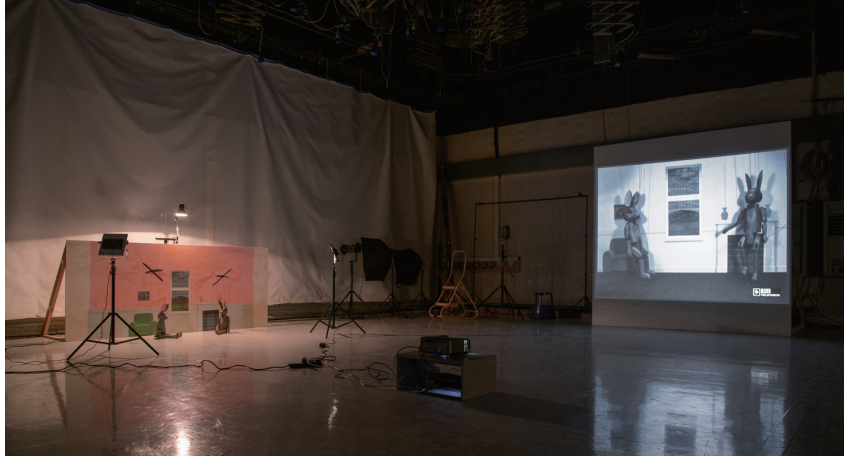
神奈川県横浜市中区長者町 7-112 伊勢佐木町センタービル 3F アズマテイプロジェクト

ウサギと野ウサギのダンス/ 世界最新の洞窟壁画

Rabbit and Hare Dance /
The Latest of Cave Painting

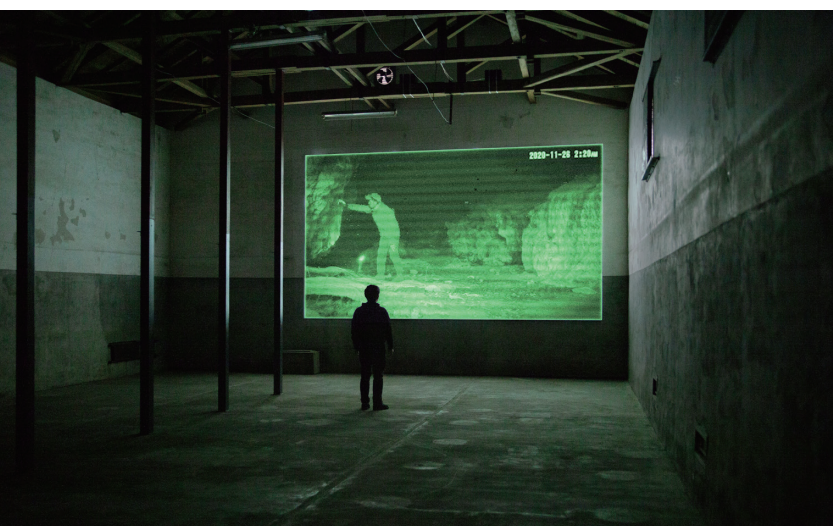
2022.5.14(sat) - 6.12(sun)

土日のみ開催 14:00-18:00



太田祐司は、「嘘」をテーマに様々な手法を用いて制作している作家である。時にはイタコという職能を用い、美術史上の著名な故人を降霊したイタコに新作の制作を依頼したり、またある時にはUMA(未確認生物)が写り込んだように見えるスナップ写真を捏造し、メディアを騒がせたりもする。物腰も柔らかく、とても親しみやすい人柄の一方で、時折り内に秘めた“毒”が垣間見えるのだが、それは特定の対象を傷つける類のものではなく、“毒”として存在することが社会にとって有用であるように働いて見えるのだ。太田が仕掛ける一連の作品は、人間という存在を支えるナショナリズムや宗教、経済などの社会構造自体が孕む虚構性を突きつけ、変化を嫌い未知のものを恐れる我々の目を見開かせる。本展では、宗教を伴う民族間の紛争を題材に北アイルランドで制作された日本未発表の作品『ウサギと野ウサギのダンス』と群馬県にあるとある洞窟にまつわる作品『世界最新の洞窟壁画』で構成される。太田の作品を通して、ナショナリズムや宗教といった物語の奴隷となるのではなく、押し寄せる情報の波に翻弄されることのないよう、それぞれが自分自身を見つめる契機となることを願っている。

アズマテイプロジェクト 酒井一吉



- 1: 『ウサギと野ウサギのダンス』 Rabbit and Hare Dance 2020年 展示全景
- 2: 『ウサギと野ウサギのダンス』 Rabbit and Hare Dance 2020年 立体部分
- 3: 『世界最新の洞窟壁画』 The Latest of Cave Painting 2021年 映像部分



<http://yujiota.com/>

新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、ご鑑賞を予約制とさせて頂くなどの措置を取る場合、或いは展覧会の中止や延期の可能性もございます。適時、ホームページに情報を掲載致しますので、ご面倒とは存じますがご来場前にご確認ください。何卒ご理解とご協力のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス感染予防のため、以下についてご理解下さい。

- マスクの着用と入場時の手の消毒にご協力下さい。
- 大人数での来場はお避け下さい。
- スタッフはマスクを着用して対応させていただきます。
- 換気のため窓を開けております。
- 発熱がある方、風邪の症状がある方、体調が優れない方はご来場をお控え下さい。
- 他のお客様との間隔をなるべくあけてご鑑賞下さい。

<https://azumateiproject.com>

アズマテイプロジェクト

〒231-0033 横浜市中区長者町 7-112 伊勢佐木町センタービル 3階

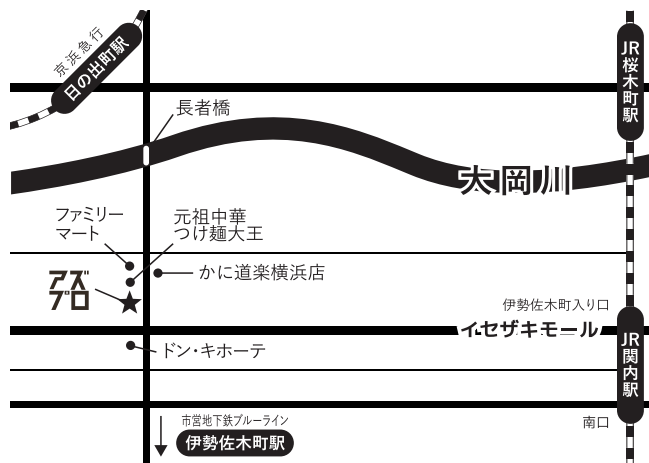


太田 祐司

1980 東京生まれ
2009 東京造形大学美術学科絵画専攻卒業
2011 東京藝術大学修士課程修了

展示歴

- 2021 「中之条ビエンナーレ 2021 国際現代芸術祭」中之条町 群馬県
- 2020 「ウサギと野ウサギのダンス」FLAX ART STUDIOS
ベルファスト 北アイルランド
- 2018 「The Artists' Kalevala, ECHOES FROM THE PAST」
TOKYO | BERLIN | KERAVA
Kerava Art Museum ヘルシンキ フィンランド
- 2013 「VOCA 展 2013」上野の森美術館
- 2012 「きのう、あったことについて」AI KOWADA GALLERY
「第15回岡本太郎現代芸術賞展」川崎市岡本太郎美術館
- 2011 「ジャクソン・ポロック新作展」AIKOKO GALLERY



アクセス

- 〔JR関内駅〕北口 イセザキモールを直進600m
- 〔京浜急行 日ノ出町駅〕長者橋を渡って直進400m
- 〔市営地下鉄 伊勢佐木長者町駅〕出口6A 300m
- 〔元祖中華つけ麺大王〕左手の緑色の階段をのぼり三階へ

